

平成27年度 グループホーム“あっと”事業実績報告書

定員 女性 4名
入居者 女性 4名 平均年齢 40.5歳
述べ利用者数 1176名 開所日数の合計 321日 1日平均利用者数 3.7名
世話人体制 非常勤 6名(2016年現在) 週1~2回 隔週 日中支援など
常勤 1名(受け入れ準備、通院同行、夕方支援補助など)

1、実践面

■入居者及び支援の状況

昨年度と変わらず4名での生活を送る。仲間同士での関係性では良好な部分も見られたが、コミュニケーションがうまくいかずトラブルとなることもあった。世話人、支援者は日々思いを受け止めて仲間同士の関係作りを努めてはいるが、難しい面もあり今後の課題として上げられる。また世話人からの気づきの報告で工夫や支援をすすめ、世話人と利用者の関係性で少しずつ構築してきた。余暇活動として、外食や催しもしたが、繰り返す日々の中で仲間が楽しみにできるような活動をもう少し増やすことが必要ではないかと感じた。

世話人3名退職のため新しい世話人が増え、それぞれに関係性を積み上げている途中である。健康面では年齢的なものもあり、内科、整形外科、婦人科など通院することが多かった。また足の痛みから階段の上り下りや立ち上がりも厳しくなっており、やはりハード面での課題が上げられる。

食事では世話人が栄養・カロリーに配慮したメニューで提供し、仲間の楽しみの一つになっている。衛生面では入浴・歯みがきを意識的に取り組み、一定の成果が出て継続中である。

■世話人・生活支援員体制

世話人会議は6月、10月、2月の土曜日夕刻2時間程度、3回実施。

10月に1人、3月に2人退職があり、それに伴い12月と2月に新しい世話人を採用する。

会議では虐待防止の研修や個別支援計画をもとに利用者の様子、支援上での悩み、工夫や改善策を話し合い、日々の実践につながるよう支援の質の向上につなげていった。また、日中の職員とも連携して、利用者一人一人の心身の状態を共有し、支援にあたってきた。

日用品の補充や改善できるところは出来るだけ早く対応するようにして、利用者の安全や世話人業務をスムーズに行えるようにした。

2、運営面など

■設備面 お風呂場の水漏れの修理

■運営面 年2回の避難訓練の実施、府社協研修の参加、日誌点検、金銭管理など

3、課題

■世話人の確保

■H30.3スプリンクラー設置のための対応 住居をどうするか